

ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画(案)に対するパブリック・コメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和8年2月1日(日)から3月2日(月)まで

2 意見募集の周知方法

広報はだの2月1日号、市ホームページ及び市公式LINE

3 計画案の公表方法

- (1) 市ホームページへの掲載
- (2) 公民館、図書館及び駅連絡所における閲覧
- (3) 本庁舎行政情報閲覧コーナーにおける閲覧
- (4) はだの魅力づくり推進課における閲覧

4 意見提出方法

郵送、FAX、電子メール、電子申請及び持参の方法による

5 提出された意見の内容及びその取扱い等

内容分類	件数	意見への対応区分(※)				
		A	B	C	D	E
はじめに	0	0	0	0	0	0
第1章 計画の改定に当たって	2	0	0	1	0	1
第2章 ヤビツ峠・蓑毛周辺を取り巻く環境	5	1	0	0	0	4
第3章 ヤビツ峠・蓑毛周辺の理想の姿	1	0	0	0	0	1
第4章 計画の実現に向けて	3	0	0	0	0	3
全体に関すること	8	0	1	4	0	3
計	19	1	1	5	0	12

※ 意見への対応区分

- A：意見等の趣旨等を計画案に反映したもの
- B：意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの
- C：今後の取組において参考とさせていただくもの
- D：計画案に反映できないもの
- E：その他(感想、質問等)

ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画(案)に対するパブリック・コメントに寄せられた御意見・御提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
1	第1章	4	本計画を「表丹沢魅力づくり構想」のアクションプランとして位置付けた理由はどのようなか。	E	本計画の上位構想である「表丹沢魅力づくり構想」では、表丹沢エリアを東西と中央の3つのエリアに分けたエリア別の方向性を示し、「本物の魅力」が見つかる表丹沢の実現を目指しています。その中で、西エリア(はだのクライミングパークや県立秦野戸川公園、秦野丹沢SAなど)、中央エリア(表丹沢野外活動センターや里山ふれあいセンターなど)は、民間活力の導入などによる新たな拠点形成機能が充実しつつあります。 一方、東エリア、特に、「県道70号沿いを中心としたヤビツ峠・蓑毛周辺」については、大規模な拠点施設というよりは、地の利をはじめ、歴史や文化を生かした地域主体の活動が進められていることから、その方向性と魅力発信スポットをつなぎ合わせることで、当該エリアのポテンシャルを引き出すとともに、更なる活性化を図っていくため、アクションプランとして位置付けたものです。
2	第1章	6	第1章 計画の改定に当たって 方向性2 広域的な魅力向上 伊勢原市、厚木市(大山エリア)、清川村、県央やまなみエリア(厚木市、伊勢原市、愛川町、清川村)との連携の取組があるが、行政の主体性や具体性が感じられない。 観光庁が策定を進めている第5次観光立国推進基本計画では、広域連携DMOの強化で、複数の自治体にまたがる広範囲な地域で観光戦略を推奨している。ヤビツ峠・蓑毛周辺という狭域の拠点での計画では、連携や整合性を困難にさせる可能性が生まれる。将来は上位計画に収斂させていくことが妥当ではないかと思うがどうか。	C	御意見を参考に、近隣自治体や県と情報を共有しながら、歴史的価値の再整理、活用の可能性を検討していきます。 なお、本計画は、表丹沢魅力づくり構想の個別アクションプランであることから、将来的な地域の絵姿が構築され次第、発展的な解消(計画の完了)を視野に入れています。

【区分】

A:意見等の趣旨等を計画案に反映したもの B:意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの

C:今後の取組において参考とさせていただくもの D:計画案に反映できないもの E:その他(感想、質問等)

ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画(案)に対するパブリック・コメントに寄せられた御意見・御提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
3	第2章	10	2 社会潮流と地域の課題 エ 本市の観光動向 ①入込観光客数の推移、②観光消費額の推移では、平成30年～令和6年の平均が平成23年～29年の平均に対して、消費額で約5倍超、1人あたりの消費額では約2.7倍に増加しているが、その理由は何か。	E	神奈川県観光振興対策協議会が示す「神奈川県入込観光客調査実施要領」に基づき、平成30年から調査対象施設にゴルフ場、温浴施設、農産品の直売所等を追加したことにより、①及び②が増加したものです。 そのため、同じ集計方法を用いた比較となるように、第2期秦野市観光振興基本計画にならい、平成30年からの統計に変更します。
4	第2章	10	○入込観光客数の推移、観光消費額の推移では、推移している年が第2期秦野市観光振興基本計画(案)とヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画と異なっている。上位計画である総合計画・はだの2030プランはもとより、あるいは第2期秦野市観光振興基本計画との整合性や継続性などを考えるべきと思うがどうか。	A	御意見を参考に、第2期秦野市観光振興基本計画にならい、平成30年からの統計に変更します。
5	第2章	16	滞在型コンテンツの造成について、目標値を大幅に上回る達成率であるが、そのことについてどう考えているのか。	E	アウトプット指標については、成果である一方、御意見の傾向になりやすいことから、年度途中での上方修正も検討すべきものと認識しています。 なお、次期計画では、満足度などのアウトカム指標を積極的に採用することとしています。
6	第2章	16	緑水庵の年間利用者数が目標を大幅に上回っているが、その要因についてどのように捉えているか。駐車場の整備もその要因の一つか。	E	施設整備と地域を交えた取組の成果であると捉えています。

【区分】

A:意見等の趣旨等を計画案に反映したもの B:意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの

C:今後の取組において参考とさせていただくもの D:計画案に反映できないもの E:その他(感想、質問等)

ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画(案)に対するパブリック・コメントに寄せられた御意見・御提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
7	第2章	16	周遊交通サービスについて、D評価だが、具体的にどういう取組か。また、その評価に対する今後の取組はどのようなか。(そもそも周遊の交通は必要なのか。)	E	「観光型MaaSをはじめ、利用者の予約に応じて運行する周遊型交通サービス(既存の路線バスやタクシーを除く観光特化型のもの)の構築を目指す」としていましたが、公共交通の運転士不足が業界全体における喫緊の課題として顕在化し、既存路線でも減便や廃便が行われる事態となったことから、KPIとして設定した「周遊型交通サービス運行台数」の検討まで至らなかったものです。 しかしながら、当該エリアにおける交通需要は高く、既存路線の維持も含め、あらゆる資源を活用しながら、継続していく必要があります。
8	第3章	21	【第3章】ヤビツ峠・蓑毛周辺の理想の姿 4個別施策 それぞれの施策には実施主体があるが、実施主体とは、しっかりと連携、調整済みなのかどうか。イメージがつかめない。	E	個別施策の実施主体については、「ヤビツ峠・蓑毛未来会議(行政関係部署、地域団体、事業者等との会議体)」の場において、整理しています。また、進行管理の場としても活用しています。 なお、「ヤビツ峠・蓑毛未来会議」について、組織の成り立ち等の説明を「P2・はじめに」に追加します。
9	第4章	34	第4章 計画の実現に向けて 1 推進体制 (1)行政の役割、(2)市民及び活動団体の役割、(3)民間事業者の役割、(4)来訪者の役割 それぞれの役割が記載されているが、住民基本条例に匹敵するようなタイトな内容である。努力目標、もしくは行政が期待したい気持ち理解できるが、この計画の推進力、機動力の醸成についても、合意形成がないと始まらないと思う。どのように合意形成を進めるのか。	E	表丹沢魅力づくり構想と同様、点在する地域資源を多様な主体とともに磨き上げ、つなげていくことが理想の絵姿であることから、それぞれが主体的に関わり、協働しながら、発展させていきます。
10	第4章	34	2 進行管理 ○様々な担当課の行政計画と連携しているようだが、計画の進行管理はどのように進めていくのか。	E	庁内外共通のロードマップシートを用いて、「ヤビツ峠・蓑毛未来会議」を活用しながら、進行管理を行っています。

【区分】
A:意見等の趣旨等を計画案に反映したもの B:意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの
C:今後の取組において参考とさせていただくもの D:計画案に反映できないもの E:その他(感想、質問等)

ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画(案)に対するパブリック・コメントに寄せられた御意見・御提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
11	第4章	35	○「自己評価及び内部評価・外部識者・関係団体等からの意見聴取」とあるが、評価の対象や内容、仕組みはどのようなか。外部識者・関係団体等とはどういう方々なのか。	E	PDCAサイクルの主体は、「ヤビツ峠・蓑毛未来会議」が担うものとしています。また、外部識者・関係団体等とは、当該エリアを管理する神奈川県のほか、周辺で活動する交通事業者やスポーツ団体、地域団体など、多岐にわたっています。
12	全体を通して	-	「名水」の活用についての取組はどのようなか。	E	本エリア内には、湧水スポットが2か所あり、OMOTANライターや公式インスタグラム等による情報発信のほか、OMOTANガイドや森林セラピーガイドによる当該スポットを巡るツアーなどが企画されています。 ※蓑毛・春嶽湧水コース(緑水庵～春嶽湧水～髭僧の滝)
13	全体を通して	-	これまで、実朝御首塚や田原ふるさと公園等を巡る導線が整備されていることから、東地区の活性化という観点であるのならば、計画エリアに含むべきではないか。	E	本計画の上位構想である「表丹沢魅力づくり構想」では、表丹沢エリアを東西と中央の3つのエリアに分けたエリア別の方向性を示し、「本物の魅力」が見つかる表丹沢の実現を目指しています。その中で、西エリア(はだのクライミングパークや県立秦野戸川公園、秦野丹沢SAなど)、中央エリア(表丹沢野外活動センターや里山ふれあいセンターなど)は、民間活力の導入などによる新たな拠点形成機能が充実しつつあります。 一方、東エリア、特に、「県道70号沿いを中心としたヤビツ峠・蓑毛周辺」については、大規模な拠点施設というよりは、地の利をはじめ、歴史や文化を生かした地域主体の活動が進められていることから、その方向性と魅力発信スポットをつなぎ合わせることで、当該エリアのポテンシャルを引き出すとともに、更なる活性化を図っていくため、アクションプランとして位置付けたものです。そのため、限定的な計画エリアの設定となっています。

【区分】

A:意見等の趣旨等を計画案に反映したもの B:意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの
C:今後の取組において参考とさせていただくもの D:計画案に反映できないもの E:その他(感想、質問等)

ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画(案)に対するパブリック・コメントに寄せられた御意見・御提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
14	全体を通して	-	この計画が地域活性化計画なのか、それとも森林整備のためなのか。農業振興か、あるいは観光振興なのか分かりづらい。このような狭域的な行政計画が魅力づくりに繋がるかどうか疑問がある。全体的にこの計画の課題や問題点などを整理して取り組むべきではないかと思うがどうか。	B	本計画は、アクションプランであるため、対象エリアを限定し、課題の具体化のほか、施策の優先順位や役割分担を明確化することで、持続可能な地域の創出と活性化を図るものです。 なお、将来的には、地域が主体的に自走できる状態を目指し、個々の施策については、発展的な解消(計画の完了)も視野に入れています。
15	全体を通して	-	本計画案では、ヤビツ峠・蓑毛周辺の魅力向上について示されており、多岐に渡るコンテンツもあることがわかる。「歴史」「スポーツ」「自然体験」が三本柱であると考えますが、それぞれに、「誰がどこからやって来て、何をどのように体験して帰るのか」という視点が明確になるとよいのではないかと思う。	C	御意見のとおり、「誰がどこからやって来て、何をどのように体験して帰るのか」という視点は重要です。そのため、本計画は、章立て型から一気通貫型へと構成を改め、来訪から再訪までを意識した設計としたことから、導線の明確化「見える化」についても、会議体等での検討を通じ、ターゲット像に応じた体験イメージの整理につなげていきます。
16	全体を通して	-	○伊勢原市との連携について ヤビツ峠・蓑毛周辺は大山へと通ずる歴史的にも重要なルートにある。富士講や大山詣りとの関わりも深い蓑毛の宿坊や大山幻の古道とも言われる県道701号(大山秦野)の調査や整備も検討し魅力向上に努めてほしい。	E	県道701号(大山秦野)については、伊勢原市や県と勉強会や現地確認を行い、どのように整備していくのが望ましいかを検討しているところです。 なお、県道701号は、「かながわのみちづくり計画」において、観光交流の促進の視点から「将来に向けて検討が必要な道路(地元市町村が地域の実情や地理的な状況を踏まえ、整備の効果や望ましいルート、構造などを整理し計画の熟度を高めていく路線)」と位置付けられていますので、引き続き、本市の取組状況を伊勢原市や県と情報共有するとともに、連携してヤビツ峠・蓑毛周辺の魅力向上につながるよう、検討を進めます。

【区分】

A:意見等の趣旨等を計画案に反映したもの B:意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの

C:今後の取組において参考とさせていただくもの D:計画案に反映できないもの E:その他(感想、質問等)

ヤビツ峠・養毛周辺魅力向上計画(案)に対するパブリック・コメントに寄せられた御意見・御提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
17	全体を通して	-	このエリアは、ヤビツ峠が重要なポイントであると考えている。現在、名古屋からヤビツ峠まで登った後、そのまま大山方面へ進み、伊勢原方面へ下山するケースが多く見受けられる。そこで、秦野側からヤビツ峠へ訪れた方々が養毛等を周遊し、秦野駅に戻るような周遊メニューを考えてみてはどうか。なお、富士見の湯への誘導も組み込む場合、路線バスではアクセスしにくいことから、タクシーを活用した周遊メニューなどを取り入れることで、より自由度の高い観光導線になると思う。併せて、伊勢原方面から大山、ヤビツ峠を経由し、秦野駅へと誘導する仕掛けも、今後の検討材料になると思う。	C	御意見を参考に、広域的な連携も視野に周遊メニューの構築を検討していきます。
18	全体を通して	-	菩提峠付近の「日本武尊の足跡」、また「一ノ塔」などの昔話は、地域ならではの歴史資源であり、観光の魅力向上にも繋がるものと思われるため、こうした物語などを観光PRの一つとして活用してはどうか。	C	御意見を参考に、歴史資源を生かした魅力の向上につなげていきます。
19	全体を通して	-	この地区は路線バスの本数が少なく、生活において車が欠かせない地域である。例えば、地元主体の運営のもと、緑水庵に運転手も含め3人程度乗車できるトライクを配備(2台程度)し、地域の方々や来訪者を送迎(有料)する仕組みなども面白いのではないかと。地域が抱える課題解決に向け、今後とも取り組んでもらいたい。	C	御意見を参考に、多様な発想を取り入れた地域活性化策を検討していきます。

【区分】

A:意見等の趣旨等を計画案に反映したもの B:意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの

C:今後の取組において参考とさせていただくもの D:計画案に反映できないもの E:その他(感想、質問等)